

2022 年度 山形県山岳連盟 総会議事録

日時：令和 4 年 3 月 19 日（土）

場所：大江町中央公民館

13:00～15:00

高橋副会長のあいさつで開会

大滝会長の挨拶

菅野事務局長から本理事会成立状況について、評議員 20 名中、出席者 8 名、委任 9 名により、規約第 13 条 8 の定数 1/2 以上により本理事会成立の報告があった。

菅野事務局長より規約第 13 条 6 出席評議員の互選により 小国山岳会 羽田 義明 評議員の推薦があり承認され、議長席に就き、議事開始。

議事録署名委員選出

菅野事務局長より 大江山岳会 木村 誠 評議員の推薦があり承認された。

報告：

報第 1 号 令和 3 年度 （公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者永年表彰について
受賞者 伊藤 吉樹 氏（山形県山岳連盟副会長）の報告があった。

報第 2 号 令和 3 年度（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会功労者表彰について
受賞者 伊藤 吉樹 氏（山形県山岳連盟副会長）の報告があった。

報第 3 号 令和 3 年度 東北ブロック会議の内容と対応について

菅野事務局長による報告

今年度、山形県で開催された東北ブロック大会（兼）東北総体の成績に東北ブロック大会と東北総体の成績判定が異なるため誤りがあると指摘があった。持ち帰り検証を行ったところ、国体出場選手に関しては支障がないものの、総合順位の入替わりが確認されたため東北各県へ謝罪を行い、今後の競技大会での実施要項を整理していくことの確認報告があった。

報第 4 号 日本山岳・スポーツクライミング協会との会議内容について

菅野事務局長による報告

日本山岳・スポーツクライミング協会筆頭副会長が来県し現状とスポーツクライミング競技への取組み等について意見交換を行った。第 1 回常任理事会での結果を受けて退会について意見を伺ったところ、退会の必要はなく競技を休む程度に考えて欲しいと助言を受けた旨の報告があった。

報第 5 号 競技に関する働きかけによるスポーツクライミング団体との対応経過について

菅野事務局長による報告

令和 4 年 3 月 4 日に山形スポーツクライミング連絡会との意見交換が行われ、国体出場を目指す子供たちの為に連絡会から国体県予選会を開催できるかについて県に確認している状況報告があった。

議事：

議第1号 2021年度 事業報告と収支決算（案）及び監査報告について

菅野事務局長による説明

事業報告ではコロナ禍の中東北ブロック山形大会の開催や県委託事業のやまがた百名山登山口調査を実施したこと、コロナ感染まん延防止による活動の中止や会議のWeb開催への移行されてきたこと、財政面では海外登山からの寄付によりいくらか繰越できたことなどの説明があり、佐藤監査員からの監査報告後審議に入る

常任理事会での指摘事項である、

04.02.19 飯豊町クライミング初心者体験会（2回目）開催中止による修正

04.03.19 飯豊町クライミング初心者体験会（3回目）の追加

以上を修正・追加説明し承認された。

議第2号 規約・規定の改正（案）について

菅野事務局長による説明

常任理事会での指摘事項などを含め以下の内容について説明があった。

1) 規約第13条8の評議員の委任について、出席者を代理人とする文言に修正

2) 競技に関する文言の削除

3) スポーツクライミングに固執せずクライミングとした文言に修正

4) 「競技部」を「クライミング部」への変更

5) 各規程の見直しと文言の整理

以上について承認された。

議第3号 加盟団体及び個人会員の退会について

菅野事務局長による報告

NPO法人アクションパーク米沢クライミングクラブ、個人会員1名の退会
規約第5条8により常任理事会での承認事項のため報告のみ行った。

議第4号 令和4年度 第23回県民登山の開催（案）について

菅野事務局長による説明

山域：朝日連峰「古寺口～大朝日岳」

期日：7月2日（土）～3日（日）

主管団体は大江山岳会

木村会長より募集要項について補足説明があり原案のとおり承認された。

議第5号 令和4年度 事業計画（案）と収支予算（案）

井上理事長・菅野事務局長による説明

具体的な事業については、2021年度はスポーツクライミング競技をどうしていくのか、コロナ禍の中で事業も制約された年だったが、ようやく方向性が見えてきたので、2022年度は登山部の活動を充実させていきたいと考えている。遭難対策関係では鳥海山でのキャプテン山形とか月山でのココヘリシステムや飯豊連峰でのドローン捜索などに取り組んでいきたい。自然保護活動では朝日山地生態系保護地域での管理委員会と巡視員制度の関連性の確立、今問題となっている鳥海山でのスノーモービルの運行や登山道の保全活動など各種の問題に取り組んでいきたいとの説明があり、予算案については競技活動をしないうことで総額が半減し厳しい状況もあるが、活性化に繋がる活動や個人への負担がないように対応していきたいとの口頭説明があった。

常任理事会での指摘事項である、

事業計画、04.11.18の第1回常任理事会の日程を19に修正、予算書の前年度決算額について修正し、事業計画・予算案について承認された。

議第6号 山形県山岳連盟の方向性について

菅野事務局長による説明

現在山形県スポーツ協会へ加入しているが、第1回常任理事会では「スポーツクライミング競技を休止」として、「他の団体（組織）への働きかけを行う」ことの方角性が承認されており、令和4年度は働きかけの猶予期間との考えからスポーツ協会への継続加入としたいが、令和4年度をもって退会することについて原案のとおり承認された。

その他：

菅野事務局長による報告

山形県総合運動公園内のクライミングウォール施設が指定管理者モンテディオ山形の管理対象外のため、山形県との無償管理契約を締結しているが、今後施設利用の際の手続きや維持管理面での適正化を図るため、山形県との契約内容や施設利用形態等の見直しを行っていくことを報告した。

井上理事長による報告

全国理事長会議ならびに自然保護関係活動の報告

金野評議員からの質問

クライミング競技に打ち込んでいる高校生の活躍の場として、国体予選以外にどのような大会があるのか。

伊藤副会長・齋藤理事による説明

オリンピックやワールドカップにつながるジャパンカップ等がある。ただし、トップクラスの選手しか参加できない。各クライミングジムで主にボルダリングのコンペを行っている。

羽田評議員議長席より退席

伊藤副会長のあいさつで閉会

本議事録は2022年3月19日に開催された2022年度山形県山岳連盟総会の議事内容及び承認事項に相違ありません。

2022年3月19日

議事録署名人

羽田 義明 

議事録署名人

木村 誠 